

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・理数科 1年A組～F組
教科書	高校生の音楽①（教育芸術社）	副教材等	

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。

(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
前 期	4	「楽典」	オリエンテーション 講座開き	音楽Ⅰの学習内容を理解する。 今後取り組む予定のグループ活動の基本とアサーションについて学び、音楽を通してコミュニケーションの活性化をはかる準備をする。	ワークシート 観察 聴取	
			リトミック	音楽に合わせて体を動かし表情豊かに表現する。	観察 聴取	
			音符の読み方 楽譜の読み方 音楽用語	楽譜の表すことを学び、諸活動に役立てる。	ワークシート 観察 聴取	
	5	「鑑賞の楽しみ」	音楽番組の鑑賞 オペラの鑑賞	鑑賞を通して多様な音楽の世界を知る。 オペラは総合芸術であることを知り、物語とドラマチックに変化する音楽を味わう。	ワークシート 観察 聴取	
			「器楽・創作の楽しみ」	リズムアンサンブル ボディパーカッション	リズムの面白さを味わいながら、さまざまな工夫をこらした創作活動に発展させる。協働学習を通して、自分の意見が述べられるようにする。文化祭等でも発表を行う	ワークシート 観察 聴取 課題進度状況 実技テスト
				「歌唱の楽しみ」	発声の基礎 ソルフェージュ	体をうまく利用した発声を学ぶ。 美しいハーモニーを生み出すためにはどのようなことが必要か理解する。 読譜の基本を学びながら、歌うことの楽しさを味わう。
	9	校歌に親しむ 合唱を楽しむ	混声四部合唱校歌	校歌を身近な存在としてとらえ、式典時にも積極的に歌えるようにする。 各パートの役割やユニゾンの大切さを理解しながら表現する。	ワークシート 観察 聴取 課題進度状況 実技テスト	
			「指揮法」	指揮者の役割を知る 指揮の実技を学ぶ	指揮法を通して、音楽的な表現方法を理解する。指揮者の体験をする。	ワークシート 観察 聴取 課題進度状況 実技テスト

後 期	11	「歌唱の楽しみ」	オペラアリアを歌い、場面を考えて表現する。	オペラアリアの名曲を味わい、振付を加えて歌うことにより、オペラを身近なものとして楽しむ。 □	ワークシート 観察 聴取 課題進度状況 実技テスト
	12		芸術歌曲を歌う	言語と音楽のかかわりについて考える。	ワークシート 観察 聴取
	1		合唱曲を味わう	はじめに詩のみを読んでイメージをふくらませ、その後実際に作品を鑑賞し両者の印象を比較する。	ワークシート 観察 聴取
	2	「鑑賞の楽しみ」	日本の伝統音楽や民謡を味わう。 世界の諸民族の音楽に親しむ。	諸民族の音楽に触れ、日本や世界の文化に対する理解を深める。	ワークシート 観察 聴取
	3	1年間のまとめ		卒業式、入学式の準備をするとともに、校内に歌の輪（和）を広げる。	レポート

3 評価の観点

知識・技能	曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現及び主体的に学習に取り組む態度の3観点から、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

感染症対策に配慮しながら進めます。そのため内容を変更する場合があります。今できることにしっかり取り組んで、音楽の持つ力を再確認しましょう。皆さんで思いっきり歌えるときが来たら、ともに美しいハーモニーを味わい楽しみましょう。授業は2時間連続のため、最初は長く感じるかもしれません。集中力が途切れないように、鑑賞・歌唱・リトミック・器楽等のさまざまな分野を組み合わせて行います。体を動かすときは各自で私物の管理をお願いします。特に眼鏡ケースやスマートフォンを床に置かないように気をつけてください。音は瞬時に消えてゆきます。その瞬間を共有して楽しみましょう。同時に、記録シートを配布しますので忘れぬうちに記入してください。学習したことが定着しやすくなります。文字は読みやすさを心がけましょう。